

# 第3回 未来部E-1グランプリ 課題文(英語)

※配役の性別によっては名前を変更してもかまいません。

☆シーン：ここは宇宙船「みらい号」。世界市民になりたいユウキは、ジーニーの魔法で宇宙に飛び出しました。ユウキとジーニーが、船長となにやら話をしています。

**Yuki** : Gee, a global citizen sounds really cool.  
But I wonder how I can become one . . .  
Oh! Wait, Captain! What's that country over there?

**Captain** : Hold on! Genie, please hand Yuki your telescope.

**Genie** : Of course! This is a magic telescope!  
Here Yuki, take a look inside. [*Genie hands the telescope to Yuki*]

**Yuki** : Wow, awesome! [*Yuki looks inside the telescope*]

—Someone from a foreign country appears—

**A** ある国と人の名前を決め、その国の特徴を作文・英訳します。

**Yuki** : Whoa!!

**Asha** : Hi, everyone! My name is **Asha**, and I'm from **India**!

**Yuki** : Nice to meet you, **Asha**! My name is Yuki!

**Captain** : Welcome aboard spacecraft *Mirai*!  
**Asha**, please share something about **India** with us.

**Asha** : **India** is a country where many different ethnic and cultural groups live together!  
That's why the Indian currency notes have 17 languages printed on them.

**Genie** : Oh, really? I didn't know that.

**B** ユウキが世界市民になるために挑戦することを作文・英訳します。

**Yuki** : I want to find out how to become a global citizen. **Asha**, do you have any ideas?

**Asha** : I also wanted to become a global citizen.  
That's why I travelled the world and studied 20 languages.

**Genie** : Wow, that many languages? That's amazing!

**Yuki** : I guess I have a long way to go . . .

**Asha** : But I realized that to become a global citizen, it's important that we start by saying "Hi" and reaching out to those around us.

**Genie** : I see, so you're spreading friendship from where you are.

**Captain** : That's wonderful! President Ikeda says:  
"What makes us global citizens is our spirit, and also the actions we take on a daily basis."  
It's important to take action for society and for others by doing what you can now, right where you are.

**Yuki** : Okay, I got it!  
**I'll start by having the courage to say "thank you" to my family when I get home!**

**C** 最後、全員での掛け声を作文・英訳します。

**Everyone** : **All right! Let's go back home!**

# 第3回 未来部E-1グランプリ 課題文(和訳)

※配役の性別によっては名前を変更してもかまいません。

☆シーン：ここは宇宙船「みらい号」。世界市民になりたいユウキは、ジーニーの魔法で宇宙に飛び出しました。ユウキとジーニーが、船長となにやら話をしています。

ユウキ : 世界市民ってかっこいいなあ。でも、どうやったら世界市民になれるんだろう。  
あ！船長！あの国ちょっと気になります！

船長 : よし！ジーニー、君の望遠鏡をユウキに貸してあげて。

ジーニー : もちろん！これは魔法の望遠鏡だよ！のぞいてごらん。(ユウキに望遠鏡を渡す)

ユウキ : おもしろそう！(ユウキは望遠鏡をのぞきこむ)

—ある国の人が目の前に現れる—

**A** ある国と人の名前を決め、その国の特徴を作文・英訳します。

ユウキ : わあ！

アーシャ : やあ、みんな！わたしはアーシャ！インドから来たよ！

ユウキ : はじめまして、アーシャ！ぼくはユウキ！

船長 : 「みらい号」へようこそ。アーシャ、インドについて私たちに何か教えてよ。

アーシャ : インドは、色んな民族が一緒に生活している国だよ！  
だから、お金には17もの言語が印刷されているんだ。

ジーニー : そうなんだ。知らなかったよ。

**B** ユウキが世界市民になるために挑戦することを作文・英訳します。

ユウキ : 実は、世界市民になる方法を探しているんだ。  
アーシャは何か知らないかな？

アーシャ : わたしも世界市民になりたいくて、世界を一周して、20か国の言葉を勉強したんだよ。

ジーニー : うわあ、そんなにたくさん！？すごい！

ユウキ : 気が遠くなるなあ…。

アーシャ : でもね、世界市民になるには、まずは身近な人にあいさつをしていくことも大切だと気がついたんだ。

ジーニー : なるほど！今いる場所から友情を広げているんだね。

船長 : 素晴らしい！池田先生は、  
「『世界市民』とは『心』で決まる。日ごろの『行動』で決まります」  
とされているよ。  
今いる場所で、人のため、社会のために、できることから挑戦することが大事だよ。

ユウキ : そうか！  
じゃあ、まずは感謝を伝える勇気を持つ！家に帰ったら家族に「ありがとう」と言うよ！

**C** 最後、全員での掛け声を作文・英訳します。

全員 : さあ、家に帰ろう！